

『もろコミ』キャッシュ・バックキャンペーン実施中!

「頭金0円」、しかも「登録時諸費用」や乗っている間の「車検基本料」、「自動車税」、「自賠責保険料」、「自動車重量税」すべてが月々税込み1万円に含まれています。さらに、車を返却する必要もありません。

「私は、一日300円で

車を買いました。」



カーコンビニ倶楽部 〒108-0075 東京都港区港南2-11-19 大滝ビル
☎0120-0120-55 <http://www.carcon.co.jp>

『車業界の転換期(2)』

この原稿を書いていると東京都議選で驚くような結果が。小池都知事率いる都民ファーストの会が圧倒的な数の自民党の壁を破り、公明党ほかと合わせると小池知事支持勢力は過半数を優に超える79議席を獲得した。

確かに安倍政権の政治家はひど過ぎる。人としてどうかと思われるような言葉で秘書を傷つける女性議員がいたり、トラブル中の学校から政治資金をもらう国会議員がいたり、また加えてトラブル中の学校の顧問をしている政治家もいる。他の国から見ると理解しがたい恥ずかしいスキヤンダルの連続である。都議選の結果はつまり都民ファーストを支持するというよりは、自民党と安倍政権に対して反省を促すための1票をたくさんの方が投じたということであろう。

さてあと3年で東京オリンピックが開催される。このオリンピックは、おそらく新しい自動車社会の幕開けのイベントにもなると考えている。事故や渋滞が減り環境にも優しい、そんな夢の自動運転の時代が実現に近づき、人工知能やセンサー、高速通信などの技術により、自動車業界にも様々な異業種が参入している。

今年の3月、インテルは自動ブレーキの画像認識に強いイスラエルのモービルアイを約1兆7千億円で買収することを決めた。このように今後とも自動運転車の周辺ではさまざまな主導権争いが展開され、その主役はITの覇者である。彼らはIT産業で出た利益を、形を変えて社会還元しようとしている。車社会が引き起こした問題を改善し、自動車業界を通して大きく貢献したいと思っているに違いない。カーコンビニ倶楽部もこの自動運転車の普及のために何を考えるべき時が来ている。

自動運転車は、まず人為的なミスを抑えることで交通事故の件数や被害を減らせる。次に運転に自信のない高齢者の支援にもなる。さらに重要なのは環境負荷の軽減。自動運転により速度管理をすることで渋滞や二酸化炭素などの排出を大いに減らす効果がある。

日本自動車工業会によると交通事故による経済損失は年間約6兆円、渋滞はなんと10兆円にもなると言う。これらの社会的なコストの軽減についても、カーコンビニ倶楽部も一緒に考えていかなければならない。

その答えの1つは明確である。この2、3年の間に、カーコンビニ倶楽部にいらっしやるお客様になるべくシンプルで方法で自動運転の車を購入してもらう方法を考えることである。「もろコミキャンペーン」などを大きく掲げ、所得格差が広がる時代においても、車が必要な人になるべく負担がなく、自動運転車を提供する仕組みをどんどん作っていきたくて思っている。無論自動運転車に関しても、今までの車と同じように車検やパーツの交換、点検や修理等は業務の1つとして行う。

全国約800の加盟店に訪れるお客様に金融業界やIT業界とコラボレーションをしながら、さらに魅力的な「もろコミ商品」を展開していく。

来年は参院選。安倍政権も近々大きな変化を余儀なくされるであろう。社会のインフラとしてカーコンビニ倶楽部は新しい時代に適応するため、様々なトライ&エラーをしていきたくて考えている。



林 成治 Seiji Hayashi
出身:北海道 青山学院大学経営学部卒業
1981年4月:プロミス株式会社入社
2008年4月:同社執行役員就任
2008年8月:カーコンビニ倶楽部株式会社 常務取締役就任
2008年10月:同社代表取締役就任
2009年8月:バル債権回収株式会社 常務取締役就任
2010年4月:株式会社Do フィナンシャルサービス取締役就任
2011年1月:同社取締役退任
2011年1月:カーコンビニ倶楽部株式会社 代表取締役就任